



『つむぎ子ども教室』・『つむぎ子ども教室Ⅱ』 ～児童発達支援～

オレンジ色のキンモクセイの香りが街中に漂い、秋の深まりを感じるこの頃です。週末は天気に恵まれないことも多いのですが、ご家庭での秋の楽しみ方をたくさん見つけてくださいね。朝晩と日中の気温差が大きく、また日暮れも早くなってきました。体温コントロールが苦手な子ども達は気温や湿度、気圧などの影響を受けやすく、なんとなく調子が悪い、不機嫌などと自律神経の働きも弱くなってしまいます。冬場の日照時間の短さが、代謝の働きにも大きく影響することから『冬場は、いまいち伸びにくい』などとも言われています。だからこそ「生体の生活リズム」の見直しと、楽しくたくさん身体を動かし、食事のリズム、睡眠リズム等を整えていくことが、冬に向けて今必要です。…でも上手いかなんだよね・・・と思っている保護者のみなさま、ぜひ学習会にいらして下さい。美味しいお茶をご用意お待ちしておりますね。W

11月	今月の目標：手洗いうがいを習慣にして感染症に気を付けよう！				
月	火	水	木	金	土
					1日
3日 文化の日	4日 ルール遊び ボール遊び	5日 ごっこ遊び 風船遊び	6日 新聞紙遊び タオル遊び	7日 積み木遊び 宝探し	8日 みかん狩り イベント
10日 かくれんぼ 宝探し	11日 ボール遊び 色遊び	12日 風船遊び ゆさぶり遊び	13日 サーキット 音遊び	14日 ダンス ごっこ遊び	15日
17日 縄遊び ルール遊び	18日 音遊び 感触遊び	19日 音遊び 手先遊び	20日 作って遊ぼう 制作	21日 色遊び かくれんぼ	22日
24日 振替休日	25日 新聞紙遊び 風船遊び	26日 オ二遊び 積み木遊び	27日 縄遊び 感触遊び	28日 作って遊ぼう 制作	29日



『11月の予定』

*11月11日(火) 保護者学習会

場所：なかまの杜4階 放デイ部屋

時間：9:15～10:30

テーマ：「発達相談会

～みんなでたくさん話しましょう！～

*11月8日(土) 秋の親子遠足 みかん狩り



🔥足湯始めました🔥

10月から一気に気温が下がり、登所時に手足が冷えている子が増えました。衣類や室温だけでの体温調節では難しく、熱がこもりやすく末端が冷えがちです。ともだちの山教室では日々の活動に足湯を取り入れています。一人ひとりに合った心地よい温度を探りながらお湯の用意をしています。体操前に温めると足首や指が柔らかくなり体操しやすくなります。エッセンシャルオイルを入れたいい香りのお湯はリラックス効果も抜群です。普段走り回っている子どもたちも、足湯をしている間は気持ち良さそうに落ち着いて座っています。ご家庭でも帰宅後や入眠前等に足湯を取り入れてはいかがでしょうか。



～向かい合い、笑い合い、やりとりする力～（日々の活動の中より）

放課後デイサービスなかまの杜に4月から新しいメンバーが加わり、半年以上が過ぎました。4月初は環境が変わり、戸惑いが見られた子ども達ですが、現在ではお互いの様子や接し方が分かってきた様で、安心して落ち着いて過ごすことが増えています。一緒に活動する中で、仲間意識が芽生え「おやつを隣で食べよう」と約束したり「公園でおにごっこしよう」と誘ったりすることができるようになってきました。それでもまだ子ども達だけで遊びを成立させることは難しく、大人と遊ぶことを好む子どもが多いです。また公園で鬼ごっこをする時に、ルール確認をせず、“何のおにごっこ（増え・氷・変わり、等）”“なのか決めずに始めようとしたことがありました。子ども同士での遊びが成立するためには、会話から対話へのことばの育ちや、人とのやりとりする力、イメージの共有などが必要です。まずは「どんな遊びを」「どんなルールで」子ども達と決めていく話し合いから始まります。「なにオニ？にする？」「〇〇から出ちゃだめだよ」など、子ども達の意見が出るように促しながら、会話を広げ、ルールを確認し、遊びのイメージや見通しが持てるようにしていきます。また、せっかくおにごっこが始まって、捕まった途端に悔しくて大泣きする・怒るなど、遊びから離脱してしまう子どももいます。負けたくない思いが強く、感情のコントロールが難しい、切り替えができない子どもも多くいます。「負けても次に頑張ればいい」と思えるようになるには、ある程度の時間がかかります。そんな時には遊びが魅力的に思えるように、大人が周りの子ども達と全力で楽しみ、離脱した子どもが「たのしそう！」「またやりたい！」と思えるような環境を作ることも大切かもしれませんね。毎日の活動の中で、大人が関わりながら対話を広げ、楽しい経験、満足した遊びを仲間と共有していきましょう。さらに相手の思いに気付く事や意見が合わない時には折り合いをつけられる等、やりとりする力を付けていく事は、やがて社会性の育ちに繋がります。

では家庭でできる遊びは何？そんな時には一緒にお手伝いはどうですか？子どもにとって遊びと生活の区別はありません。大切なことは、**大人は笑顔で！できれば求めない**ことです。多少不器用でも子どもが「またやりたい」「楽しかった」と思えるような手伝い遊びをすることが大切です。私たち大人は「遊んであげている」ではなく「一緒に楽しむ」に思考を変えていくことが大切ですね。

（放デイ職員：S.M）

参考文献：「障害児の保育と発達の実践」 相馬範子著

「障害児が変わる！脳・からだ・こころを目覚めさせる科学的発達支援」 相馬範子著

避難訓練をしました

ともだちの山 編



お散歩を兼ねて、避難経路の確認などをおこないました。



なかまの杜・ともだちの山・マックビル・それぞれで避難訓練を実施しています。引き続き防災・安全対策等、取り組んでいきますので、ご理解・ご協力をお願い致します。